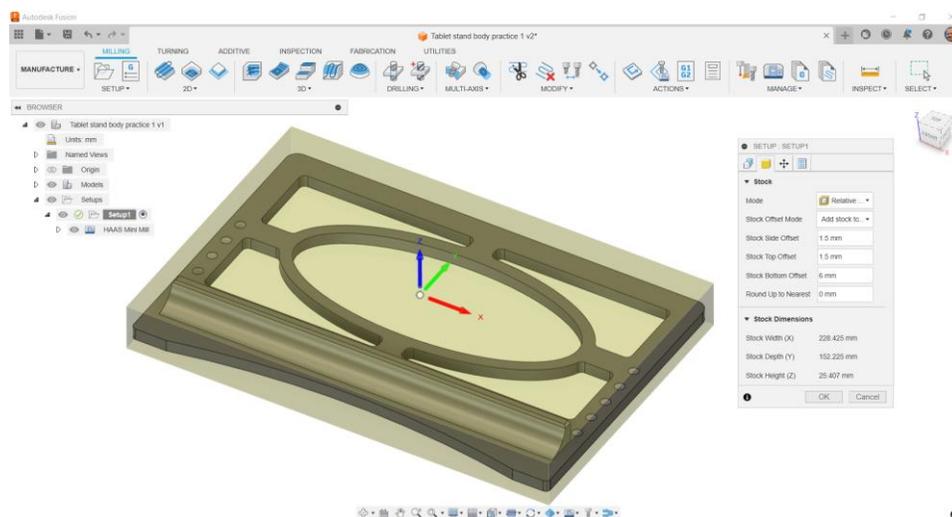


**解決策: 練習課題****フライス加工の CAM セットアップを作成する**

初期ストックを作成し、Fusion の新しいプロジェクトのワーク座標系(WCS)を定義します。

**学習の目的:**

- CNC フライス加工のデータセットを準備します。
- パーツの WCS を定義します。
- CNC フライスで使用するパーツの方向を設定します。
- パーツのストック ジオメトリを定義します。



完成図

1. 提供されたデータセット Tablet stand body practice 1.f3d を開き、[製造]作業スペースを選択します。[ミル]タブのツールバーがアクティブであることを確認します。ブラウザで、ドキュメントの単位がミリメートル (単位: mm)であることを確認します。Z 軸がアップであることを確認します。

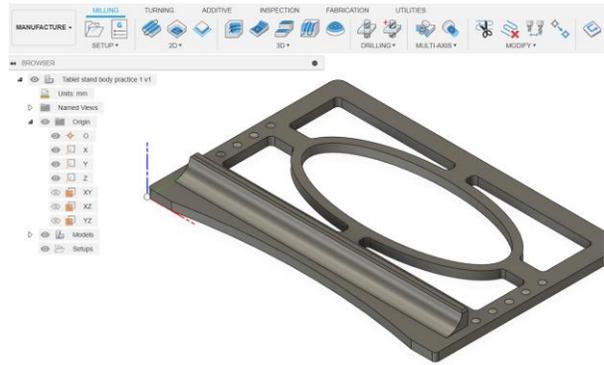


図 1. [製造]作業スペースでデータセットを開きます。

2. [ミル]タブのツールバーで、[セットアップ] > [新規セットアップ]をクリックし、新しいセットアップを作成します。[セットアップ]ダイアログボックスが開きます。

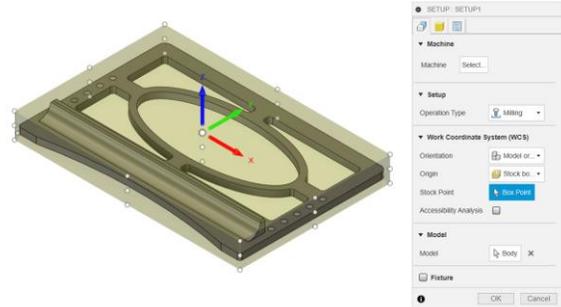


図 2. セットアップを新規作成する

**注:** ここで説明するセットアップ設定に従うか、特定のマシンおよび使用可能なストック/工具に合わせて設定を修正します。

3. Fusion ライブラリからマシンを選択します。このパーツには 3 軸 CNC ミルが必要です。この演習では、HAAS Mini Mill を選択します。

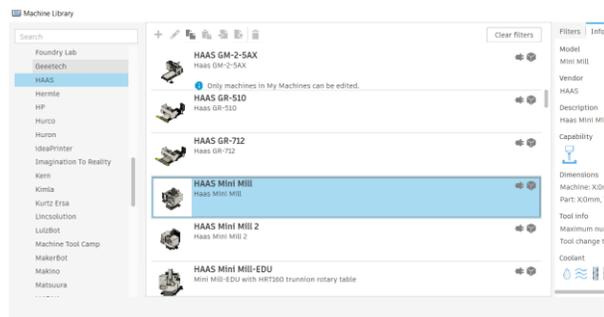


図 3. マシンを選択します

4. Z 軸と X 軸で定義する WCS の方向を設定します。スタンドの最も長い側を X 軸として選択します。Z 軸は、スタンドの上面に対して垂直である必要があります。

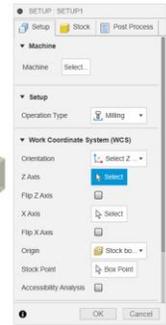
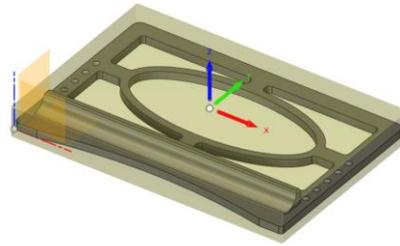


図 4. WCS の方向と位置

現在のストックシルエットの上面で、ストックポイントとして上面の中点を選択します。軸の正しい方向と位置については、図を参照してください。

**注:** いずれかの軸が反対方向を指している場合は、[X 軸を反転]チェックボックスを切り替えて、目的の方向を指します。

5. モデルとしてタブレットスタンドのボディコンポーネントを選択します。

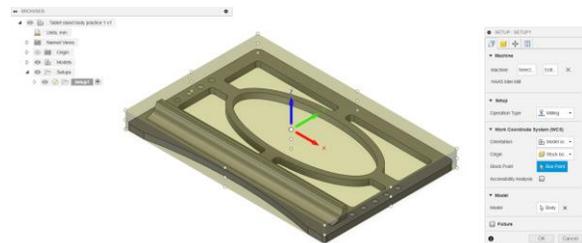


図 5. モデルを選択

**注:** 必要に応じて、[デザイン]作業スペースに器具アセンブリを含め、[セットアップ]ダイアログの器具オプションを使用して分類することができます。治具を含めると、下位のツールパスシミュレーションで発生する可能性のある干渉を検出するのに有用です。この練習の範囲を超える可能性があります。

6. [ストック]タブで、モードを相対サイズボックスに設定します。次のオフセットを持つようにパーツを設定します。

- 側面オフセット: 1.5 mm
- 上部オフセット: 1.5 mm
- 下部オフセット: 6 mm

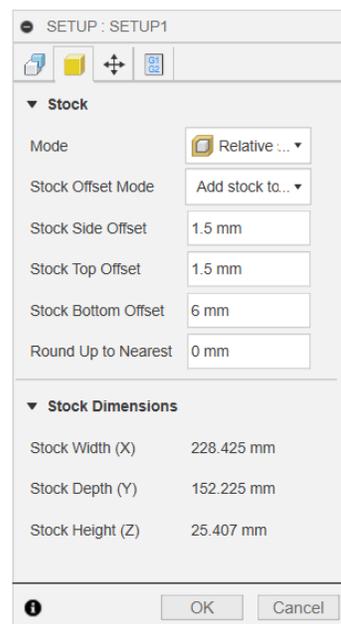


図 6. ストック定義

7. [ポスト処理]タブでは、プログラム名/番号を保持し、オプションのプログラムコメントを追加することができます。

[OK]をクリックして、セットアップの設定を確定します。

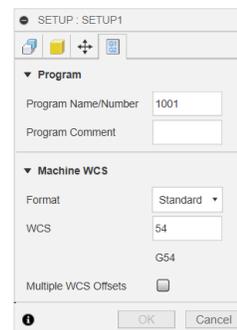


図 7. ポスト処理オプション